

3年間、ありがとうございました！

地域おこし協力隊 遠藤友紀隊員と田中のどか隊員が退任されます。



南陽市地域おこし協力隊の遠藤友紀さん（写真右）と田中のどかさんが3月31日をもって協力隊を退任されます。協力隊としての3年間を振り返りながら、地域への思いやこれからの暮らしについて伺いました。

Q 3年間を振り返っての感想を教えてください

遠藤さん（以下、遠） あっという間の3年でした。最初の2年は農業という未知の世界での活動で、最後の1年は「くまきち農園」として新たなスタートを切って、いろいろな方との出会いやつながりができて、本当に貴重な経験ができたと思います。

田中さん（以下、田） 私も、ぶどう栽培やワインづくりという関わりがなかった分野での活動で、いつも新しい発見や刺激を経験させていただきました。1年目は右も左もわからないところからワイナリーを経験させていただいて、2年目は自分のワインを作ったり、小学生に向けた見学会を開かせてもらったり。3年目は集大成としてワイン講座を開いたり、協力隊だからこそできる貴重な経験をさせていただけました。

Q 特に印象に残っていることは？

遠 農業の師匠から教えていただいたことや、人とつながりができたことでしょうか。あとは、県内でも南陽市には品質の高い果樹がたくさんあるという環境の豊かさに気づかされたり、温泉や文化など、南陽市全体がバランスのとれた魅力あふれるまちだなと、住んでみて感じました。

田 やはり自分でワインを企画したことです。どんなワインにするかと

か、どんな販売方法にするか、ラベルをどうするかなど、一つ一つ自分で考えて、色んな方の協力を得ながら、最初から最後まで携われたのは本当にいい経験になったと思います。あとは市内のワイナリーの皆さんや、イベントにきてくれた方との交流の中で、色々なお話が聴けて刺激になりました。

Q 協力隊としてのミッション達成度は？

遠 農業については、さくらんぼの畑が、事情により3年目の耕作ができませんでしたが、カフェの運営に専念して、果樹の魅力のPRや販売につなげることができたり、たくさんつながりを作ることができたので私の中では100点（笑）満足・充実できたなと思います。

田 私は80点くらいでしょうか（笑）「ワイン産業を未来につなげる」という意味では、ぶどうづくりやワインづくりの知識を得ることができて、それを見学会や講座という形で地域へ還元することができたかなと思っています。あとは、ワイナリーの皆さんへのインタビューをSNSで発信したり、ワインづくりのクラウドファンディングで、南陽産テラウエアをPRできたりと、少しはワインの関係人口を増やしていることに貢献できたかなと感じています。残りの20点は、実際、どのくらい広められたのかなというところもあって、そ

こは今後も引き続き南陽ワインをPRしていければと思います。

Q 春からの活動は？

遠 引き続きカフェを続けていきますが、南陽市だけでなく、置賜や県全体の魅力もPRしていければと思います。あとは、食育や子ども食堂などの分野でも活用してもらえそうなイベントなども考えていて、つながりを広げていければと思います。

田 春からは実家のある山形市へ戻ります。ワインからも少し離れることになるのですが、ふるさと納税に関わる仕事に就く予定なので、南陽市で学んだことを活かしていきたいです。南陽市は近いですし、第二のふるさととして、南陽産ワインを飲んだり、ワインフェスティバルにも遊びに来たいと思います。

Q 南陽市の皆さんにメッセージをお願いします。

遠 多くの皆さんのおかげで無事に3年間が経験でき、今の私があるので、感謝の気持ちしかありません。ありがとうございました。

田 南陽市の皆さんは温かい方ばかりで、色々なことに協力していただきました。その温かみがあって、3年間ここにいることができたなと思います。私も感謝しかありません。ありがとうございました。